



2023 (令和5) 年 杵築市10大ニュース

NO	題名	内容	備考(日付)	担当課
1	「シン・ゴリュー塾」始動	杵築市立図書館は、郷土出身の天文学者、麻田剛立について広く知ってもらうために「シン・ゴリュー塾」を始動させた。 2022年8月の子ども向け天体観測講座「天体望遠鏡を触ってみよう!」を皮切りに、初年度事業「シン・ゴリュー塾シリーズNo.1」として2023年2月に、剛立や剛立が愛した宇宙について学ぶ講演会「剛立(ごうりゅう)の空と今の宇宙(そら)」を開催した。 2023年度は「シリーズNo.2」として、夏休みに子ども向けワークショップ「おうちでプラネタリウム～お月さまより高いところには何があるの～」を開催し、参加した子どもたちに麻田剛立とその偉業について知ってもらった。 また、麻田剛立と宇宙に関するエッセイの募集及び剛立のイメージキャラクター募集を行い、全国からエッセイ20点、キャラクター70点と多数の応募が寄せられ、郷土の偉人の知名度を上げることに成功した。 なお、2024年2月には、図書館所蔵の剛立に関する古文書を読み、麻田剛立が生きた江戸時代の生活様式などについて食を中心とした講演会を予定している。	■シリーズNo.1 令和5年2月19日～ ■シリーズNo.2 令和5年8月19日～	市立図書館
2	子育て重点施策はじまる	こどもが健やかに育ち、保護者が安心して養育できることを目指して、子育ての重点施策を実施している。 ①【こども家庭センターの設置】妊娠期から子育て期全般の相談に幅広く対応。保護者が孤立することなく、不安や疑問を解消し必要な制度ができるように、主管課を一本化し体制強化 ②【伴走型相談支援&出産子育て応援交付金】妊娠期からの寄り添い支援と妊娠時と出産時にお祝い金を交付する経済支援を一体的に実施 ③【保育料の完全無償化】これまで利用負担のあった第1子の3歳未満児も無償に ④【小中学校入学時に入学祝い商品券の交付】 ⑤【子ども医療費助成対象を高校生年代まで拡大】	令和5年4月～令和6年3月 ※②は令和5年2月～	福祉事務所
3	杵築市議会議員一般選挙無投票	令和5年4月23日投開票の「杵築市議会議員一般選挙」は、平成17年の合併以降初めて無投票となった。	令和5年4月23日執行 (4月16日告示)	選挙管理委員会事務局
4	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、市内観光イベントの復活や各地区でのイベント・活動が再開	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和5年5月から「5類感染症」に変更され、自粛していたイベントの再開や市民の意識や行動が以前の生活に戻ってきた。 大型連休中には、3年ぶりにお城まつりが開催され、約1万5千人の方が来場し賑わいの創出となった。また、夏の海水浴、天神祭り、花火大会、観月祭と通常開催し多くの観光客が市内へ訪れました。 各地区住民自治協議会では、マルシェやコンサート、盆踊りや敬老会、お祭りや防災フェア、ウォーキング大会など、趣向を凝らしたイベントを実施し、賑わいづくりを図るとともに地域の親睦を深めた。	令和5年5月～	商工観光課 健康長寿あんしん課 協働のまちづくり課
5	心房細動早期発見による健康寿命延伸事業実施	大分大学医学部、杵築市立山香病院と協働で、心房細動を早期に発見治療することにより、健康寿命の延伸を図る取組を行った。	令和5年6月1日～	市立山香病院 健康長寿あんしん課
6	NPO法人「こどもサポートにっこ・にこ」が令和5年度内閣府女性のチャレンジ支援賞を受賞。	母親が安心して働くことができるよう、子どもたちが安全に育つ場所が必要という思いから、1997年から自主活動を開始。子育て経験を活かしたきめ細かい支援は、杵築市の子育て環境の充実や地域の活性化に貢献し、地域を巻き込んでの子育て支援活動は、地域のニーズを的確に捉えた。 2019年開設の「子どもの居場所b&gさつき」では、放課後以降の子ども居場所や生活習慣形成、学習環境の提供など子どもの成長へとつなげる活動等、杵築市の子育て支援に貢献した。 このように、子育て中の女性の自己実現やチャレンジを可能とし、支援を受ける立場から支援を行う立場として社会で活躍する活動モデルとして評価され、「内閣府女性のチャレンジ支援賞」を県内で初めて受賞した。	令和5年6月24日 受賞	福祉事務所
7	大分県内初!最先端リハビリテーション機器「mediVRカグラ」を導入	市立山香病院が仮想現実(VR)を取り入れた最先端のリハビリテーション機器「mediVRカグラ」を導入した。 ゴーグルを装着すると、目の前のVR空間内にはスティックと的があり、患者は両手に持ったスティックを的に当てる。これらの動作を連続して行うことにより、歩行機能やバランス能力の向上、さらには認知機能の回復など、高い治療効果に期待が寄せられている。	令和5年 7月	市立山香病院 医療介護連携課
8	法政大学学生食堂で杵築産産物を使ったメニューを提供し、杵築市をPR!	令和4年度に実施された法政大学「地方共創プログラム2022」の中で学生チームから提案された「杵築産産物のプロモーションプラン」が実現したものの、法政大学の学生食堂でメニュー3品が8日間の期間限定で日替わりで提供され、1日100食ほど、8日間で約1,000食が完売となるほどの大盛況となった。期間中に市職員が現地PRを行うなど、杵築産産物の知名度向上と杵築市のPRを行うことができた。	令和5年9月27日 ～10月6日 ※土日を除く8日間	総務課 農林水産課
9	大田地域交通死亡事故ゼロ10年達成記念 特別街頭指導	大田地域では平成25年10月12日に、大田波多方の県道34号線で交通死亡事故が発生し、翌日から交通死亡事故ゼロを継続してきた。 交通安全協会杵築日出支部大田分会会員による地域住民への交通安全啓発活動の結果、今年10月13日に交通死亡事故ゼロ10年を達成した。これを記念し、さらに今後死亡事故ゼロ4,000日(令和6年9月24日)を目指して、記念事業として特別街頭指導を行った。	令和5年10月20日	大田振興課
10	杵築市のカーボンニュートラル推進で三者がタッグ!!九州電力・大分県信用組合との包括連携協定締結	2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けて包括連携協定を締結した。具体的に九州電力は地球温暖化対策に関する市民向けセミナーの開催や防災協力等、大分県信用組合は、ゼロ・エネルギー・ハウスローンなどの低利融資商品の提供です。	令和5年11月17日	市民生活課